



# モビリティマネジメント啓発イベント 「みんなでMM！～考えようモビリティマネジメント～」 アンケート調査のまとめ

## 1. モビリティマネジメント啓発イベント 「みんなでMM！～考えようモビリティマネジメント～」について

### ① イベントの概要

- 学校法人岩崎学園横浜デジタルアート専門学校（以下、横浜デジタルアート専門学校）と横浜市は、三井不動産商業マネジメント株式会社の協力のもと、平成27年10月31日（土）、11月1日（日）の2日間、ららぽーと横浜1階サウスコートカリヨン広場にて、モビリティマネジメント（以下、MM）啓発イベントを開催しました。
- 横浜デジタルアート専門学校の学生が制作したMM啓発ツール（歌、ダンス、カレンダー、ぬり絵、動画等）を用いて、以下のイベントを行いました。

#### ▼ イベントの内容

【ステージイベント】(11:00～、13:30～、15:00～、16:30～)  
(好評につき、当日急きょ15:00～の1ステージを増やして実施。)

- ① MMって何？
- ② 都筑区マスコット「つづきあい」と踊るMMダンス

#### 【お子様向けぬり絵スペース】

MMキャラクター「モビマネくん」ぬり絵

#### 【展示】

- ① パネル(MMカレンダー原画、MM説明、同校総合デザインゼミナール活動紹介)
- ② MM説明動画の上映

#### 【アンケート調査】

イベントについてのアンケート調査を行い、回答者に「MM日めくりカレンダー」(A6縦型/非売品)を配布しました。

- 2日間で約500人の方に参加していただきました。ぬり絵コーナーなどもあり、特にお子さま連れのご家族が多く見られました。
- 無料のぬり絵コーナーや都筑区マスコットキャラクターとのふれあいなど、子ども向けのイベントも多く、大人だけでなく子どもにもMMを周知できる取組となっています。



会場風景



パネル展示



ぬり絵コーナー



MM説明動画



MMダンス



都筑区マスコット「つづきあい」



ステージ

## ②アンケート調査の実施概要

- ご参加いただいた方に対して、MMの認知度やイベント参加によるマイカー利用への意識変化、当日の来場時の移動手段などを把握するため、アンケート調査を実施しました。
- アンケート調査には、全部で212人の方にご回答いただきました。

### ▼MM啓発イベント アンケート調査概要

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| ①実施日  | :平成27年10月31日(土)／11月1日(日) |
| ②配布方法 | :調査員による手渡し配布             |
| ③回収方法 | :その場で記入後、回収ボックスなどで現地回収   |
| ④回答者数 | :212人                    |



館内掲出用ポスター



MM日めくり  
カレンダー

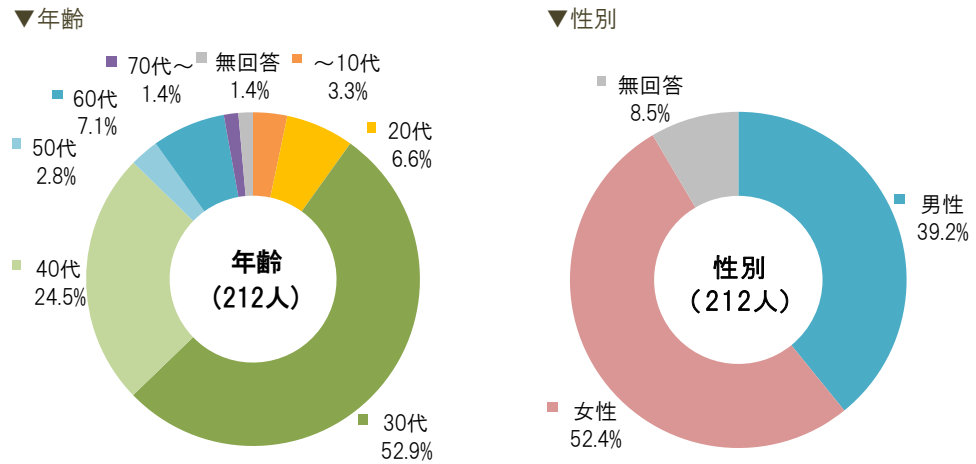


つづき  
都筑区マスコット「つづきあい」

## 2. 回答者の特徴について

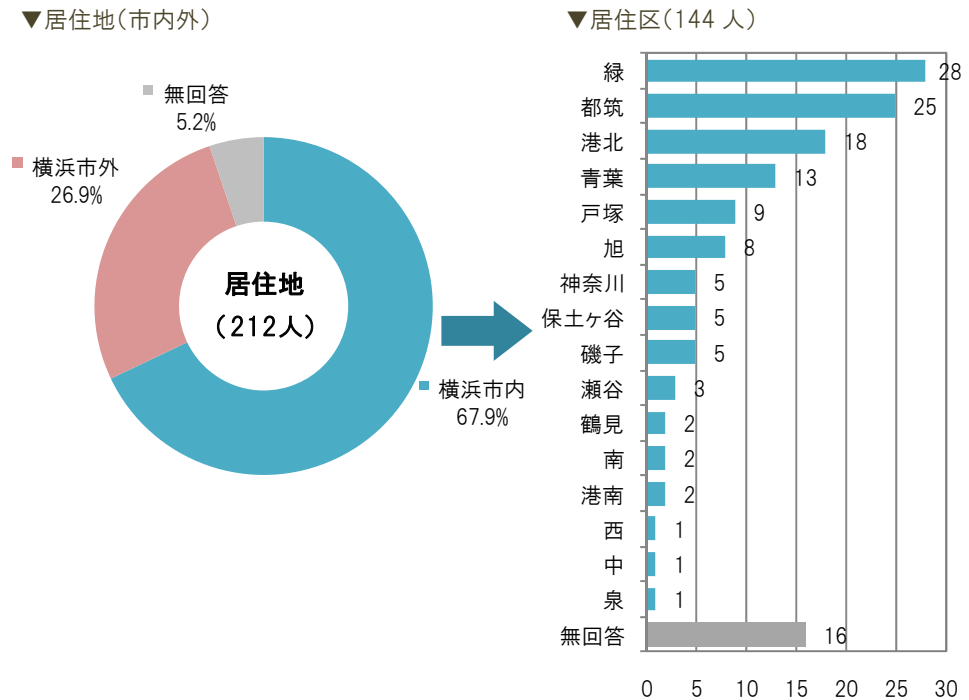
### ①年齢と性別

- 回答者の年齢層をみると、30代の方が半数以上を占め、次いで40代と、比較的若い世代の回答が多くなっています。
- また性別では、男性が39.2%、女性が52.4%と、女性の比率が高くなっています。



### ②居住地

- 回答者の68%（144人）は市内在住であり、27%（57人）は市外在住です。
- この内訳として、ららぽーと横浜の立地する都筑区、隣接する緑区からの来場が多くなっていますが、その他市内各区からの来場も見られます。



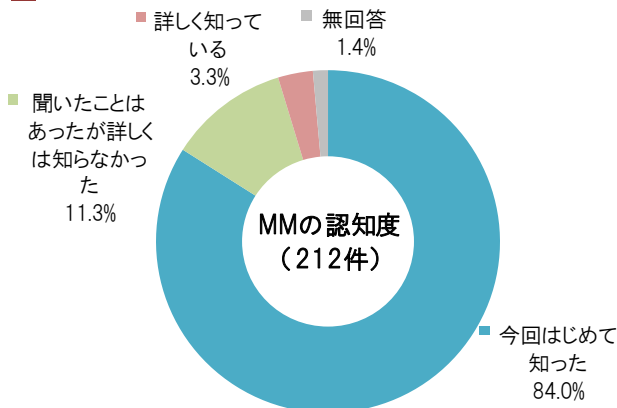


### 3. アンケート結果について

#### ①MMの取組の認知状況

- MMの取組について認知状況を聞いたところ、全体の84%の方が「今回はじめて知った」と回答しています。
- 「聞いたことはあったが詳しくは知らなかった」を加えると、大半の方がMMの取組を十分には認知していない状況にあります。

問 MMという取組について、ご存知でしたか？

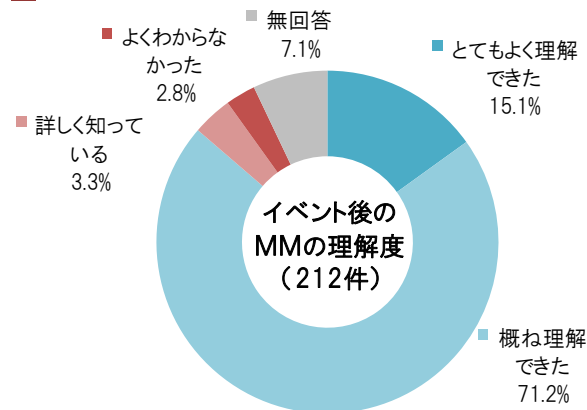


MMの取組は、少なくとも今回のイベント参加者には、十分浸透していない状況。  
今回のイベントでは、MMの取組を知らなかった人にMMの周知を図ることができたと考えられる。

#### ②イベント後のMMの理解度

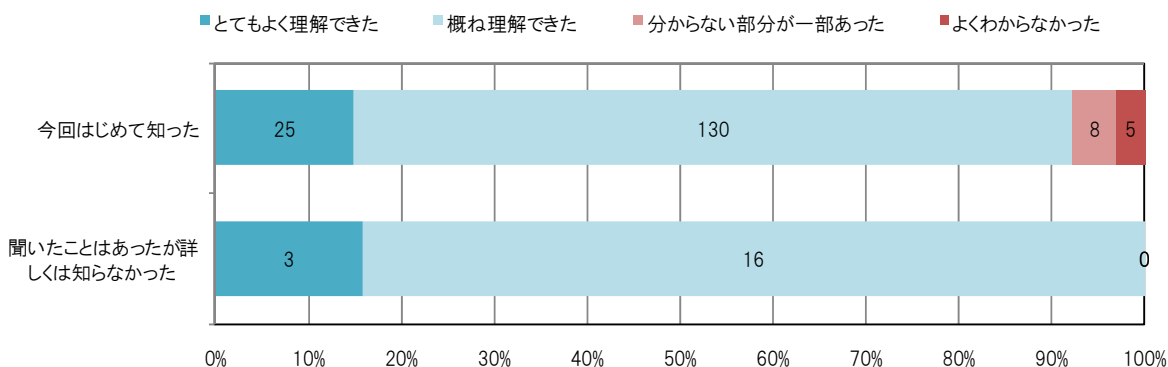
- イベント参加後のMMの理解度を聞いたところ、「とてもよく理解できた」「概ね理解できた」と回答したあわせて86%の方が、MMの理解度が向上したと感じています。
- 問①のMMの認知状況と合わせてみると(下参考グラフ)、今回初めて知った人、詳しくは知らなかった人ともに、「概ね理解できた」と回答しています。
- なお、「よくわからなかった」方に自由記入形式で理由を聞いたところ、「説明がなかった」「途中参加のため」など4件の意見がありました。

問 イベントを通して、MMについて理解できましたか？



イベントの参加により、MMの取組、MMの目指すところなどについて参加者の理解が進んだ。  
また今回のイベントは、MMのことを考えてもらうきっかけにはなったと考えられる。

参考 「MMの認知度」と「イベント後の理解度」の関係



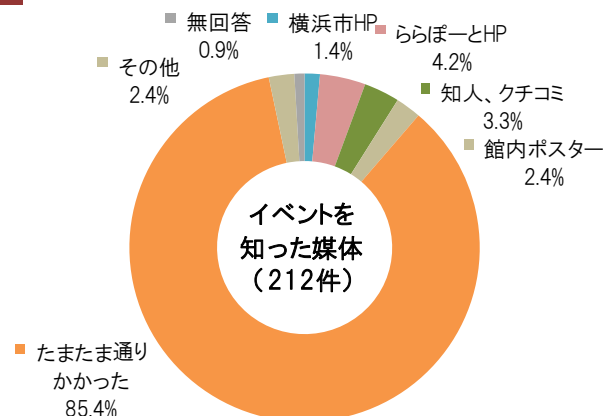
※グラフ内の数値は、回答件数

### ③ イベントを知った媒体

- MMのイベントを知った媒体について聞いたところ、全体の85%の方が「たまたま通りかかった」と回答しています。
- ホームページや館内ポスターなど、事前に周知を行っていた媒体を見た人は少なくなっています。



問 イベントをどのようにお知りになりましたか？



MMの取組を知らない人が大半を占める中、能動的にイベント情報を集める人は少ないため、事前周知のあり方を検討する必要があります。

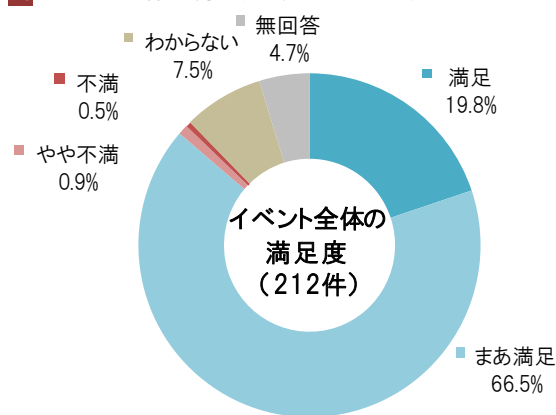
一方で、集客力のある施設で多くの人を足止めることができれば、事前周知が十分でなくても、多くの参加者を集めることができる。

### ④ イベント全体の満足度

- イベント全体の満足度では、「満足」「まあ満足」と回答したあわせて86%の方が、イベントに対して良い印象を持っています。
- その理由として、ぬり絵、アニメーション動画の上映など、子どもが楽しめる取組に対する評価や、説明の分かりやすさを理由に挙げる方が多く見られました。
- 一方、説明をよく見ないと分からない、モニターが小さく見づらい、などの意見もありました。



問 イベント全体の満足度と、その理由を教えてください。



イベント内容は概ね良い評価となっている。子どもが楽しめるイベントで家族連れを惹きつけられたことが、参加者の満足度を高めることに繋がったと考えられる。

#### ▼「満足」「まあ満足」の理由

- ①子どもが楽しめた（ぬり絵など）（27件）
  - ・子どもがぬり絵をよここんだ、楽しんでいた
  - ・アニメが分かりやすかった …など
- ②説明が分かりやすかった（10件）
  - ・分かりやすい説明、色々な方法で説明していた
  - ・MMの取組、活動を知ることができた …など
- ③楽しかった、かわいかった（5件）
  - ・ダンスがかわいかった
  - ・楽しかった …など

#### ④イベントの好評価（4件）

- ・健康寿命向上に役立つ良いイベント …など
- ・幼少期からの教育になる …など

#### ⑤イベントの改善点（6件）

- ・テレビモニターが小さく見づらかった …など
- ・より詳しい説明があると良かった …など

#### ⑥その他（3件）

- ・学生との連携
- ・活動を知ることができた
- ・途中参加で見れなかった

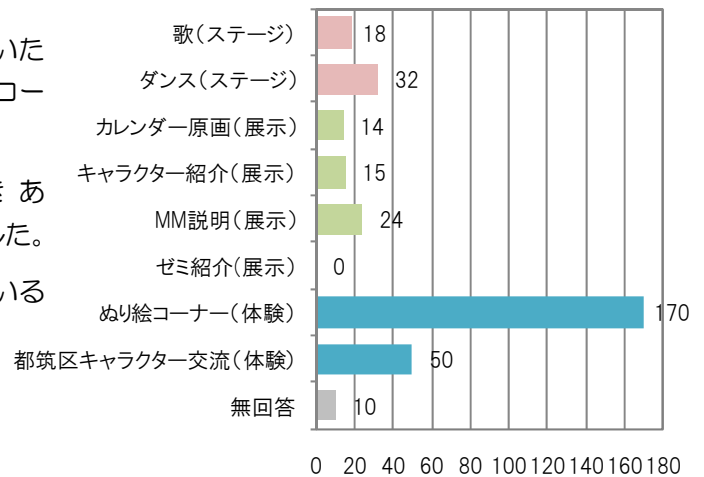
#### ▼「不満」「わからない」の理由

- ・案内、説明が良く見ないと分からない
- ・遠目から何をやっているのか分からない。

## ⑤良かった企画

- 参加者が「良かった」と感じた企画について聞いたところ、回答者 212 人中 170 人が「ぬり絵コーナー（体験）」を挙げています。
- また、都筑区マスコットキャラクター「つづき あい」との交流を挙げた方は 212 人中 50 人でした。
- 一方 MM を説明する展示物について評価している回答は少なくなっています。

問 良かった企画を教えてください。（複数回答）

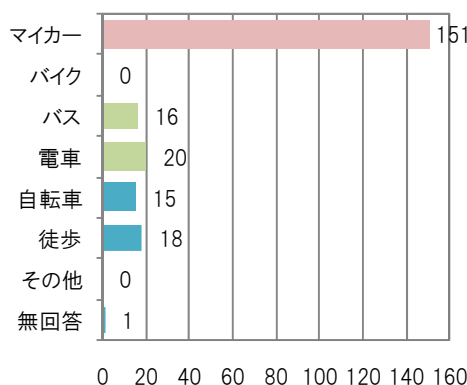


ぬり絵やマスコットキャラクターとのふれあいは、子どもに対するMM啓発の動機づけとしては有効。一方、一緒に来場した保護者など「大人に対するMM」の周知の仕方については一考の余地がある。（例：子どものぬり絵中の時間を利用した保護者への説明の仕方など）

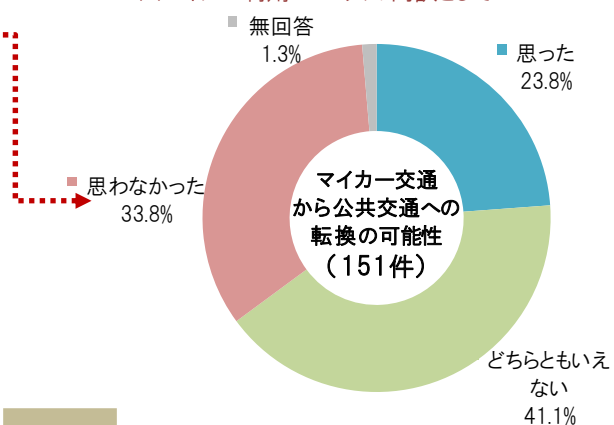
## ⑥イベントの来場時の交通手段

- 来場時の交通手段は、回答者の 71%（212 人中 151 人）が、「マイカー」と回答しています。一方、その他の手段では、バス、電車、自転車、徒歩がそれぞれ 20 人程度となっています。
- マイカー利用者に対して、MM の取組を知った上で「次回以降のららぽーと横浜への来場の際に公共交通機関の利用も考えようと思うか」を聞いたところ、（公共交通機関も利用しよう）「思った」とする人は 24%にとどまり、（公共交通機関も利用しよう）「思わなかった」41%、「どちらともいえない」34%と、MM の取組についての理解は進んでも、実際の行動にまでは繋がりにくい状況が見られます。

問 本日、どのような交通手段でお越しになりましたか？



問 今回のイベントに参加して、「次にららぽーと横浜に行く際は公共交通機関の利用も考えてみよう」と思いましたか？ ※マイカー利用 151 人の内訳として

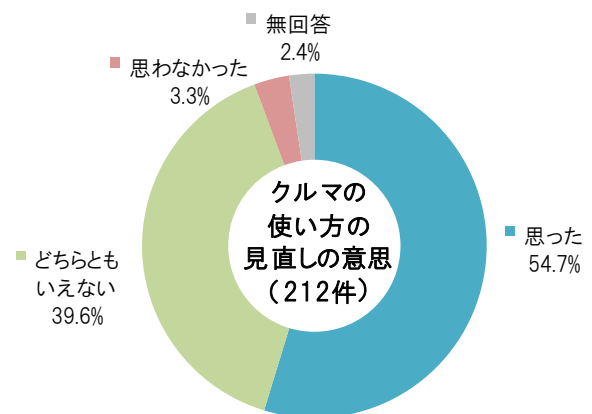


回答者の傾向として子育て世帯が多いことが、マイカーでの来場が多い背景として考えられる。参加者に次回ららぽーと横浜に来場する際に、マイカーから公共交通機関の利用へ行動を転換してもらうためには、さらに踏み込んだ啓発活動が必要。

## ⑦クルマの使い方の見直しの意思

- イベントに参加し MM の取組を知った上で、「クルマの使い方を見直し、積極的に公共交通機関を利用しようと思ったか」について聞いたところ、「思った」とする人は55%、「どちらともいえない」とする人は40%でした。
- 一方、「思わなかった」とする人は3%と少なくなっています。

**問** 今回のイベントに参加して、「クルマの使い方を見直し、積極的に公共交通機関を利用してみよう」と思いましたか？



今回のイベントは、参加者に普段の生活の中でのクルマの使い方を見直してもらうきっかけに繋がった。

今後、行き先、同行者などに応じて、「どのようなケースで、クルマの使い方を見直せるのか？」など、一人ひとりが自発的に考えることを促す取組に繋げていくことも必要。

## 参考: 自由意見について

- 自由記入欄には、34 件のご意見が寄せられました。

### 【イベントに関するご意見】(19件)

- 知らない人が多いと思うので、良い企画なので広げていけばよい
- 子どもが低年齢すぎて、MMの意義を言理解できないのでは？
- 良い企画だと思います。
- 普段からバスや電車を積極的に使おうと思いました。
- 子どもが参加できてよかった
- 子どもも楽しめて良かった
- 企画段階から参加できれば、もっと効果的なものができるのではないかな？
- 粗品はカレンダーよりアメやティッシュが嬉しいです。
- キャラクターがかわいかったです。
- 最初から参加しないので、あまりよくは分からない。子どもを楽しませる企画としては、良いと思います。
- お役所仕事・・・
- 見てもらう、ポイントをしてももらうPR、良いと思います。
- 楽しめました。ありがとうございます。
- 子どもも一緒になり、楽しめるのが良いと思った。
- ステージのアニメーション説明は子どもにもわかりやすく良いと考える。
- 子どもがぬり絵に興味を示しアンケートに答えましたが、この時間に個別説明があれば、もっと理解できたかなと思う。(人員の問題もありますが・・・)
- つづきあいちゃんの名前を初めて知りました。もっと広く知れ渡ると、モビリティマネジメントも広がりやすいと思いました。
- みんながぬったぬり絵を飾った方が、子どもが喜ぶと思う。
- 都筑区にキャラクターがいるのをはじめて知りました。

### 【MMに関するご意見】(8件)

- 子どもが大きくなったら、公共交通機関を利用しようと思います。
- あまり車に頼りすぎないようにしたいと思いました。
- 常々意識はしていましたが、今後はルールを決めるなどして、より車への依存を少なくしていこうと思います。
- マイカーと公共交通機関、それぞれの状況での利用を考える必要があると思った。
- 環境のためにも、自分の健康のためにも、電車、バスを利用していきたい。
- ライフスタイルを考えるきっかけにはなりましたが、そうすぐには実行できないことも事実だと思います。自分自身の健康とも合わせ考えて取組んでみたいと思います。
- 小さな子どもがいるので車は必要ですが、いないとなるとなるべく歩いたり、公共交通を使いたいと思います。
- 横浜市外、都内在住者ですが、最近マイカーについて必要度を考えています。

### 【横浜の交通施策全般に対するご意見】(7件)

- バスがだんだん減って利用しにくくなっているの、小さい車でもよいので動かしてほしい
- 交通弱者はお年寄りだけでなく、小さな子連れも同様。バス利用者減少は人口減とも連動しているのでは？渋滞は道路行政が後手になっている局面があると考えられる。公共機関と言えど自助努力すべし。
- 過度に頼っていると考えたことが無いので、この運動があることにびっくりした。道のために車の税金が使われていて、払っていても尚料金のかかる物を使うことも、使いすぎるなどというのは分からない。
- そもそも駅が遠い(自宅から)。バス1時間に1本しか来ない。電ちやり高い。横浜はクルマが無いと不便。
- 子どもが小さいと車の利便性が大きい。子どもが乗りやすい環境づくりが必要。
- 人の多い地域ではバスも電車も混んでいるので実感がわからない。子連れベビーカーでは不便すぎて使えない。
- 70歳以上の運転事故が増発している中、警察とタイアップしても良いのでは？このような運動は高齢者向けに進めていってほしい。